



2021年9月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年5月7日

上場会社名 EPSホールディングス株式会社
 コード番号 4282 URL <https://www.eps-holdings.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 巖 浩

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 副社長執行役員 (氏名) 関谷 和樹

TEL 03-5684-7873

四半期報告書提出予定日 2021年5月14日

配当支払開始予定日

2021年6月7日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年9月期第2四半期の連結業績(2020年10月1日～2021年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第2四半期	35,390	5.1	3,807	41.9	4,326	53.2	2,617	36.5
2020年9月期第2四半期	33,663	0.5	2,684	15.6	2,823	13.8	1,917	7.2

(注)包括利益 2021年9月期第2四半期 3,580百万円 (204.6%) 2020年9月期第2四半期 1,175百万円 (54.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期第2四半期	59.29	
2020年9月期第2四半期	42.39	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年9月期第2四半期	71,170	49,381	65.2
2020年9月期	70,458	46,939	62.6

(参考)自己資本 2021年9月期第2四半期 46,431百万円 2020年9月期 44,106百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期		10.00		10.00	20.00
2021年9月期		12.50			
2021年9月期(予想)				10.00	22.50

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

(注)2021年9月期第2四半期末配当金には、記念配当2円50銭が含まれています。

詳細については、本日(2021年5月7日)公表しました、「通期業績予想の修正及び剰余金の配当(創業30周年記念配当)に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2021年9月期の連結業績予想(2020年10月1日～2021年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	75,000	12.5	5,500	20.8	5,900	18.5	3,300	65.4	74.67

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想については、本日(2021年5月7日)公表しました、「通期業績予想の修正及び剰余金の配当(創業30周年記念配当)に関するお知らせ」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年9月期2Q	46,311,389 株	2020年9月期	46,311,389 株
期末自己株式数	2021年9月期2Q	2,116,823 株	2020年9月期	2,212,221 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年9月期2Q	44,146,888 株	2020年9月期2Q	45,229,182 株

(注)期末自己株式数には、EPS益新株式会社が所有する当社株式93,090株が含まれています。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10
3. 補足情報	11
(1) 連結キャッシュ・フロー関連の主要な数値	11
(2) 受注実績	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における業績全般の概況

	前第2四半期連結累計期間		当第2四半期連結累計期間		増減	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	33,663	100.0	35,390	100.0	1,726	5.1
営業利益	2,684	8.0	3,807	10.8	1,123	41.9
経常利益	2,823	8.4	4,326	12.2	1,503	53.2
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,917	5.7	2,617	7.4	700	36.5

文中の将来に関する事項は、当第2四半期連結会計期間の末日現在において判断したものです。

当第2四半期連結累計期間における当社グループ全体の連結売上高、連結営業利益はともに順調に推移しており、また各事業における新型コロナウイルスの影響は軽微に留まりました。

前年同期と比較すると、国内事業においては、CRO（医薬品開発受託機関）事業は、モニタリングを中心に稼働率が向上していること、また、CSO（医薬品販売事業受託機関）事業は医薬向けコントラクトMR（契約医薬情報担当者）やDI業務*をはじめ、各サービスともに順調に進捗しており、増収増益となりました。SMO（治験施設支援機関）事業は、新型コロナウイルスの影響で、特に地方の医療機関への訪問制限や被験者の来院減少などにより減収となりましたが、費用の抑制等により増益となりました。

海外事業において、Global Research 事業は、受注の競争環境が厳しく減収減益となりました。益新事業は前第1四半期、中国において製造ラインを一時的に停止しました。その後再開し増収となりましたが、中国における規制強化への対応費用が発生しています。

この結果、連結売上高は、対前年同期比5.1%増の35,390百万円となりました。

連結営業利益は、売上高が増加したことによる増益に加え、コスト構造改革を推進し管理面での費用削減を進めた効果が表れ、対前年同期比41.9%増の3,807百万円となりました。

※DI（drug information/おくすり相談室）業務：医薬品の最新情報を医療関係者向けに提供するコールセンター業務

セグメント別の業績は次の通りです。

セグメントの状況

当社グループは主として以下の5セグメント（国内3、海外2）にて事業を展開しています。

			前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減
			百万円	百万円	百万円
国内事業	CRO	売上高	15,595	16,717	1,121
		営業利益	2,438	3,566	1,128
	SMO	売上高	6,917	6,700	△216
		営業利益	911	940	29
	CSO	売上高	5,663	6,336	672
		営業利益	399	807	407
海外事業	Global Research	売上高	1,889	1,583	△306
		営業利益	99	17	△81
	益新	売上高	4,084	4,331	247
		営業損失（△）	△257	△181	76

① CRO事業

CRO事業は主にイーピーエス(株)、EPクルーズ(株)及び、(株)EPメディアにて展開しています。同事業では、トータルソリューションサービスを提供するEPSプラットフォームの構築を目指し、バーチャル治験の体制(Virtual Go)構築や、アカデミアなどとの共同研究を通じた知見の獲得など、新たなサービスの確立を含めた取り組みを行っています。

売上高は前年同期と比較して1,121百万円増の16,717百万円(7.2%増)、営業利益は1,128百万円増の3,566百万円(46.3%増)となりました。

主な業務別の状況は以下の通りです。

[治験・PMS業務]

複数の取引先とのアライアンス契約による受注が想定を上回って進捗しており、モニタリング業務やデータサイエンス業務を中心に高稼働率が続いているほか、データサイエンス業務において、低採算案件に対する業務効率化などの効果が表れ、増収増益となりました。

[臨床研究業務]

多様化する臨床研究に対して体制強化及び上流工程からの支援サービスの拡充と営業強化に取り組んでいます。医師主導治験を含めたアカデミア案件を中心に引合いが順調であり、また臨床研究におけるモニタリング業務が、高い稼働率を維持しており、原価削減の効果もあり増収増益となりました。

[医療機器、その他業務]

非医薬品のCRO事業を強化するため、医療機器業務と機能性食品のCROとの連携を図っています。前年同期と比較すると、医療機器業務が市場の拡大とともに、堅調に売上を伸ばしています。また、機能性食品関連業務は、前年同期と比較して減収減益ですが、機能性表示食品などの新規の引合いが好調です。

② SMO事業

SMO事業は、(株)EP総合にて展開しています。

同事業では試験依頼者への新しいサービスを含めた提案営業やアライアンス契約による受注の確保、症例集積性のよい優良施設に対するリソースの集中などの地域戦略を積極的に行っています。

売上高は前年同期と比較して216百万円減の6,700百万円(3.1%減)となりました。営業利益は29百万円増の940百万円(3.2%増)となりました。

業務面においては、必須文書など治験関連文書の電子化によるIRB(治験審査委員会)の遠隔審査体制の推進により、試験の効率化を図り生産性を向上させています。さらに、医療機関に配置したSDM*が試験データの集中管理を行うことでCRC(治験コーディネーター)の負荷を軽減し、迅速な症例集積と試験コストの低減を図る新しいビジネスモデルを展開しています。前年同期と比較すると、引合いが好調で多くの案件が稼働しています。新型コロナウイルスの影響で、特に地方の医療機関への訪問制限や被験者の来院減少などにより若干の減収となりましたが、人員の適正配置や管理コストの抑制などの施策を推し進めたことから増益になりました。

※SDM(Site Data Manager) : CRCが被験者・医療スタッフとの対応や症例集積に集中するために、SDMとして治験モニター(CRA(Clinical Research Associate))を医療機関に配置し、データの精査やシステムへの入力などを専属で担当する。

③ CSO事業

CSO事業は(株)EPファーマライン、(株)EPフォース及び(株)ESリンクにて展開しています。

売上高は前年同期と比較して672百万円増の6,336百万円(11.9%増)、営業利益は前年同期と比較して407百万円増の807百万円(102.1%増)となりました。

主な業務別の状況は以下の通りです。

[DI業務]

これまでDI業務をアウトソースしてこなかった新規取引先の増加や、新型コロナウイルスに関連したサービスを製薬会社に提供できたこともあり、増収となりました。利益面では前年同期に複数あった高収益なスポット案件が、当期は減少し前年並みとなりました。

[コントラクトMR業務]

近年続いた製薬業界のMR削減に起因するコントラクトMRへの需要低減が収束し、引合いも回復傾向にあります。新規プロジェクトへの人員配置などが着実に進み、稼働率が高まったことにより増収となりました。利益

面では、高稼働率で推移したことに加えて、リモート活動を促進したことにより大幅な増益となりました。

[その他業務]

学術資材作成業務は、WEBセミナーの開催増加に伴って受託業務が増加しました。また、製品販売後調査サポートサービスや医薬品流通管理などの業務が好調に進捗するなどして、増収増益となりました。

④ Global Research 事業

Global Research 事業はE P S インターナショナル(株)とその海外グループ会社で構成されており、日本、中国及びアジア・パシフィック地域でCRO事業を展開しています。

売上高は前年同期と比較して306百万円減の1,583百万円(16.2%減)となりました。営業利益は前年同期と比較して81百万円減の17百万円(82.2%減)となりました。

海外から受託する国内試験については、グローバルCROとの競争激化により、新規受託が低調でした。

中国国内事業につきましては、前期買収した中国CROの北京格銳博医薬研発有限公司(G&P)を中心として、中国市場の拡大に伴い引合いが増加していますが、一部試験の進捗が遅延した影響がありました。

アジア・パシフィック地域においては、各国でのローカル案件の受託に注力するとともに、事業基盤整備を継続しています。

⑤ 益新事業

益新事業は、E P S 益新(株)、益新(中国)有限公司の2つの統括会社及び中国のグループ会社で展開しています。

同事業は、(株)スズケンとの緊密な資本業務提携のもと、医薬品や医療機器を中心とした製品関連事業、国際貿易事業及び周辺サポート関連事業を展開し、一層の収益拡大を図っています。

売上高は前年同期と比較して247百万円増の4,331百万円(6.1%増)、営業損失は181百万円(前年同期間257百万円の損失)となりました。

同事業は、医薬品の製造販売を収益の柱としており、販売チャネルの選別による収益性の強化も取り組んでいます。売上・利益面では、前第1四半期は製造ラインを一時的に停止した影響がありましたが、製造を再開したことにより増収となりました。ただし、中国国内においても新型コロナウイルスの感染発生以降、医療機関への来院患者が減少していることから、販売への影響が続いています。また、中国における医薬品の製造に対する規制強化に対応するため、様々な改善費用が発生しました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、2020年11月5日に公表しました、2021年9月期の連結業績予想を修正しています。詳細につきましては、本日(2021年5月7日)公表しました「通期業績予想の修正及び剰余金の配当(創業30周年記念配当)に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,127	20,124
受取手形及び売掛金	16,313	17,626
有価証券	1,378	1,179
商品及び製品	1,002	1,411
仕掛品	1,752	1,972
その他	3,494	3,224
貸倒引当金	△159	△177
流動資産合計	45,909	45,361
固定資産		
有形固定資産	7,244	8,359
無形固定資産		
のれん	5,984	5,454
その他	1,438	1,423
無形固定資産合計	7,422	6,877
投資その他の資産		
投資有価証券	3,690	4,727
敷金及び保証金	1,984	2,109
その他	4,206	3,735
投資その他の資産合計	9,880	10,572
固定資産合計	24,548	25,809
資産合計	70,458	71,170
負債の部		
流動負債		
買掛金	753	1,228
短期借入金	3,465	2,784
1年内返済予定の長期借入金	209	159
未払法人税等	2,104	1,530
賞与引当金	3,554	2,759
受注損失引当金	296	242
その他	9,835	9,056
流動負債合計	20,219	17,760
固定負債		
長期借入金	204	850
役員退職慰労引当金	110	52
退職給付に係る負債	1,767	1,696
資産除去債務	580	574
その他	636	854
固定負債合計	3,299	4,028
負債合計	23,518	21,789

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,888	3,888
資本剰余金	13,382	12,828
利益剰余金	29,007	31,183
自己株式	△2,802	△2,682
株主資本合計	43,475	45,217
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	164	455
為替換算調整勘定	559	830
退職給付に係る調整累計額	△93	△71
その他の包括利益累計額合計	630	1,213
非支配株主持分	2,833	2,949
純資産合計	46,939	49,381
負債純資産合計	70,458	71,170

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)
売上高	33,663	35,390
売上原価	22,982	23,321
売上総利益	10,681	12,068
販売費及び一般管理費	7,996	8,261
営業利益	2,684	3,807
営業外収益		
受取利息	62	51
受取配当金	30	27
保険解約益	47	106
為替差益	-	224
その他	69	139
営業外収益合計	209	550
営業外費用		
支払利息	7	9
為替差損	25	-
支払手数料	-	20
その他	36	2
営業外費用合計	69	31
経常利益	2,823	4,326
特別利益		
保険解約返戻金	637	-
特別利益合計	637	-
特別損失		
事業再編損	274	-
特別損失合計	274	-
税金等調整前四半期純利益	3,186	4,326
法人税、住民税及び事業税	1,117	1,399
法人税等調整額	306	168
法人税等合計	1,423	1,568
四半期純利益	1,762	2,758
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△154	141
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,917	2,617

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)
四半期純利益	1,762	2,758
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△690	290
為替換算調整勘定	44	509
退職給付に係る調整額	58	21
持分法適用会社に対する持分相当額	0	0
その他の包括利益合計	△587	821
四半期包括利益	1,175	3,580
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,322	3,200
非支配株主に係る四半期包括利益	△147	379

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							調整額(注1)	四半期連結 損益計算書 計上額
	CRO事業	SMO事業	CSO事業	Global Research 事業	益新事業	その他	計		
売上高									
外部顧客への売上高	14,770	6,903	5,614	1,782	4,075	517	33,663	—	33,663
セグメント間の内部 売上高又は振替高	825	14	49	107	8	948	1,952	(1,952)	—
計	15,595	6,917	5,663	1,889	4,084	1,466	35,616	(1,952)	33,663
セグメント利益	2,438	911	399	99	(257)	73	3,664	(980)	2,684

(注) 1 セグメント利益の調整額(980)百万円には、セグメント間取引消去等の8百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用(988)百万円が含まれています。全社費用の主なものは、当社(持株会社)に係る費用です。

2 株式会社E P S アソシエイトはE P S インターナショナル株式会社を2019年10月1日付で吸収合併し、商号をE P S インターナショナル株式会社へ変更しています。それに伴い、セグメントを「CRO事業」から「Global Research事業」に変更しました。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							調整額(注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	CRO事業	SMO事業	CSO事業	Global Research 事業	益新事業	その他	計		
売上高									
外部顧客への売上高	16,476	6,689	6,325	1,423	4,319	154	35,390	—	35,390
セグメント間の内部 売上高又は振替高	240	10	11	160	11	1,572	2,007	(2,007)	—
計	16,717	6,700	6,336	1,583	4,331	1,727	37,397	(2,007)	35,390
セグメント利益	3,566	940	807	17	(181)	(46)	5,104	(1,296)	3,807

(注) セグメント利益の調整額(1,296)百万円には、セグメント間取引消去等の3百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用(1,300)百万円が含まれています。全社費用の主なものは、当社(持株会社)に係る費用です。

(重要な後発事象)

(株式取得による尚捷集團控股有限公司の買収)

当社は、2021年4月26日開催の取締役会において、尚捷集團控股有限公司 (Speed Apparel Holding Limited 以下「SPEED」という。) の発行済株式数の75%を取得することを決議し、2021年4月27日付で同社株式を取得しました。

(1) 企業結合の概要

① 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 尚捷集團控股有限公司 (Speed Apparel Holding Limited)

※ 臨時株主総会による決議を条件に社名を、「E P S 創健科技集團有限公司」(EPS Creative Health Technology Group Ltd.) に変更する予定です。

事業の内容 サプライチェーン・マネジメント・サービス

② 企業結合を行った主な理由

アパレル製品のデザインや物流などのノウハウを有する「SPEED」を当社グループの傘下に置くとともに、当社グループの有するヘルスケアに対する知見と融合させることにより、今までにない「ビジネス」の確立を目指し、また、「SPEED」を中核とした日中間のプロダクトビジネスに、これまで中国事業の中で取り組んでいた「創薬」を加えて、ビジネスの多角展開を進めるため。

③ 取得した議決権比率

75%

④ 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得したことによるものです。

(2) 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	3,705	億香港ドル
取得原価		3,705	億香港ドル

(株式取得による株式会社CACクロアの買収)

当社は、2021年4月27日開催の取締役会において、当社の完全子会社であるイーピーエス株式会社が、株式会社CACクロアの全株式を6月30日付で取得し、同社を連結子会社化(当社の孫会社化)することについて決議しました。

(1) 企業結合の概要

① 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 株式会社CACクロア

事業の内容 医薬品・医療機器開発業務の受託ならびにそれに関するITサービス

② 企業結合を行う主な理由

株式会社CACクロアの持つ業務管理、顧客対応のノウハウを融合し、治験から製造販売まで幅広い顧客に対応できる体制を構築するとともに、安全性管理支援ノウハウや、システム開発力を総合的に駆使することで、幅広い安全性業務支援を展開するため。

③ 取得する議決権比率

100%

④ 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社の連結子会社であるイーピーエス株式会社が現金を対価として株式を取得することによるものです。

(2) 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	3,000	百万円
取得原価		3,000	百万円

3. 補足情報

(1) 連結キャッシュ・フロー関連の主要な数値

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー	1,567	344
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,359	△1,791
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	958	△1,291
IV. 現金及び現金同等物に係る換算差額	31	393
V. 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,197	△2,345
VI. 現金及び現金同等物の期首残高	19,141	22,833
VII. 現金及び現金同等物の四半期末残高	20,339	20,488
減価償却費	493	509
のれんの償却額	606	582

(2) 受注実績

区分	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)			
	受注高 (百万円)	前年同期比 (%)	受注残高 (百万円)	前年同期比 (%)
CRO事業	24,307	215.0	52,196	132.0
SMO事業	8,204	119.9	23,346	110.3
CSO事業	6,013	98.8	10,226	96.9
Global Research 事業	978	—	5,366	87.5
益新事業	4,385	118.4	224	333.4
その他	147	50.1	23	3.9
合計	44,037	160.7	91,384	117.1

- (注) 1. Global Research事業の受注高の前年同期比について、前第2四半期連結累計期間はプロジェクトの中止に伴う受注の取消が発生したことにより受注高がマイナスであったため記載していません。
2. 金額は販売価格で記載しています。
3. 上記金額には消費税等は含まれていません。